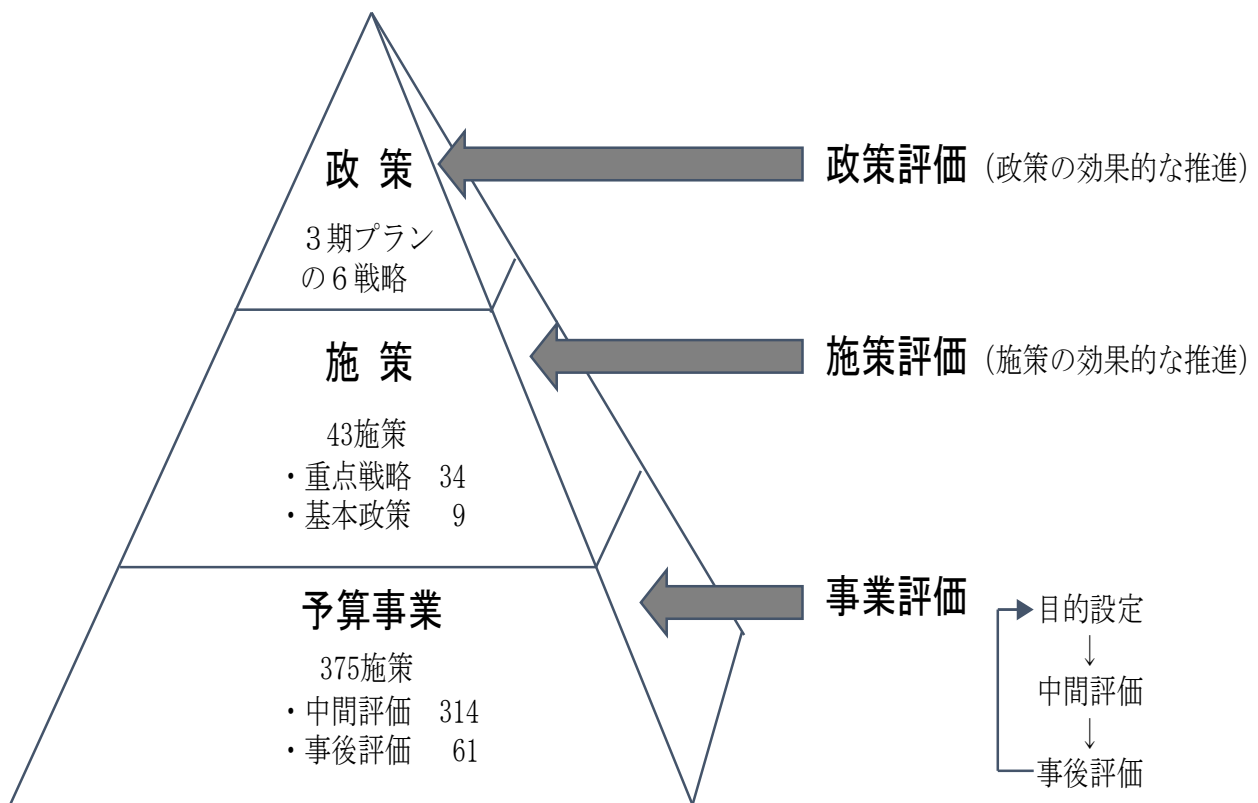


令和 3 年度政策等の評価の実施状況について

令和 3 年 9 月 1 6 日
企 画 振 興 部

各実施機関（知事、教育委員会、公安委員会及び警察本部長）が令和 3 年度（評価対象：令和 2 年度）に行った政策等の評価の実施状況は、次のとおりである。

I 政策等の評価の体系



- 第3期ふるさと秋田元気創造プラン（3期プラン）の政策等の評価は、目標数値に対する達成度などの評価に加え、目的に応じた事業の展開状況や、それぞれの政策を取り巻く外的要因の変化なども併せて、総合的に判断している。
- 実績の評価に当たっては、原則として令和2年度の数値等を使用している。

Ⅱ 3期プランの政策等の評価結果（概要）

1 政策（重点戦略）の総合評価

総合評価	件数	政策（重点戦略）名
A	0	
B	0	
C	4	戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略（2.86） 戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略（2.80） 戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略（2.29） 戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略（2.25）
D	2	戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略（1.83） 戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略（1.80）
E	0	

（注）（ ）内の数字は、重点戦略を構成する施策の総合評価の平均点

施策の総合評価の点数 A：4点、B：3点、C：2点、D：1点、E：0点

【政策評価の評価基準】

①定量的評価

A：平均点＝4点
B：4点＞平均点≥3点
C：3点＞平均点≥2点
D：2点＞平均点≥1点
E：1点＞平均点≥0点

②定性的評価

施策の推進状況等（社会経済状況等を踏まえた場合に特に考慮する必要がある施策の取組状況とその成果など）から判定する。

③総合評価

A B C D Eの5段階に判定する。

2 施策（重点戦略）の総合評価

重点戦略名・施策名	総合評価
戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略	D
1－1 社会減の抑制に向けた雇用の場の創出、人材育成・確保	E
1－2 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり	C
1－3 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート	E
1－4 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現	A
1－5 活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり	B
戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略	C
2－1 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成	B
2－2 中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上	C
2－3 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進	C
2－4 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備	C

戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略	C
3-1 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成	B
3-2 複合型生産構造への転換の加速化	B
3-3 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用	B
3-4 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化	A
3-5 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化	C
3-6 つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興	C
3-7 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり	B
戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・ものの交流拡大戦略	D
4-1 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化	D
4-2 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進	D
4-3 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出	D
4-4 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大	B
4-5 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備	A
4-6 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築	D
戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略	C
5-1 健康寿命日本一への挑戦	C
5-2 心の健康づくりと自殺予防対策	B
5-3 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備	B
5-4 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実	B
5-5 次代を担う子どもの育成	B
戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略	C
6-1 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成 ★	A
6-2 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着 ★	C
6-3 世界で活躍できるグローバル人材の育成 ★	C
6-4 豊かな人間性と健やかな体の育成 ★	B
6-5 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり ★	A
6-6 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興	D
6-7 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供 ★	E

(注) ★は教育委員会が評価を行った施策

【施策評価の評価基準】

①-1 代表指標の達成率の判定基準

実績値≧基準値	a	達成率≧100%
	b	100%＞達成率≧90%
	c	90%＞達成率≧80%
基準値＞実績値	d	80%＞達成率
	e	実績値が前年度より改善 実績値が前年度より悪化
実績値が未判明	n	実績値が未判明

②定性的評価

施策の取組状況とその成果、外的要因等から判定する。

①-2 定量的評価の判定基準

A	代表指標が全て「a」
B	代表指標に「b」があり、「c」以下がない
C	代表指標に「c」があり、「d」以下がない
D	代表指標に「d」、「e」を含む ただし、「E」、「N」に該当するものを除く
E	代表指標が全て「e」
N	代表指標に「n」を含む

③総合評価

A B C D E の5段階に判定する。

3 政策評価及び施策評価の結果

■戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略

施策1-1 社会減の抑制に向けた雇用の場の創出、人材育成・確保

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
雇用創出数(人)	目標			2,493	2,600	2,772	2,985	
	実績	2,552	2,209	(2,334)	(2,614)	R3.10月判明予定		
	達成率			(93.6%)	(100.5%)	—		
出典: 県あきた未来戦略課調べ	指標の判定			(d)	(a)	n		

総合評価	評価理由
E	● 代表指標の達成状況については、①「雇用創出数」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、令和2年度実績値は全体としては未判明であるが、雇用創出数目標値2,772人の約4分の1に当たる800人を目標としている「企業誘致等による雇用」については、企業誘致件数が元年度から大幅に減って5件となったことで、前年度から減少し、474人（対前年度比△413人）となることが判明している。そのほか、「起業・創業」で488人（対前年度比+38人）、「漁業分野」で11人（対前年度比△2人）、「観光産業」で298人（対前年度比△275人）の雇用創出が判明している。構成要素のうち、未判明の「成長産業（輸送機産業、医療福祉関連産業、情報関連産業等）」、「農業」、「林業」における雇用創出数が元年度と同程度で推移した場合には、全体として2年度目標値を下回ることが見込まれる。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「E」とする。

施策1-2 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
人口の社会減(人)	目標			△ 3,590	△ 3,080	△ 2,560	△ 2,050	
	実績	△ 4,100	△ 4,410	(△ 3,917)	(△ 2,910)	R3.11月判明予定		H28実績値 △4,253
	達成率			(90.9%)	(105.5%)	—		
出典: 県調査統計課「年齢別人口流動調査」	指標の判定			(b)	(a)	n		

総合評価	評価理由
C	● 代表指標の達成状況については、①「人口の社会減」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、令和2年10月～3年5月の社会増減数の実績（△2,944人）に、未判明である3年6月～9月の前年同期値（△22人）を加えた値は△2,966人、達成状況は84.1%で「c」相当であるほか、成果・業績指標①「県内大学生等の県内就職率」や成果・業績指標⑤「Aターン就職者数」も前年度を上回る実績となったものの、目標値を下回る結果となった。 ● 一方で、就活支援の強化や、移住・Aターン就職に関するきめ細かな相談対応、情報発信等を行った結果、成果・業績指標②「就職説明会等への大学生等の参加者数」や成果・業績指標④「移住者数」が目標を上回るなど、社会減の抑制につながる成果が現れてきている。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。

施策１－３ 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
婚姻件数(組)	目標			3,590	3,660	3,730	3,800	
	実績	3,510	3,311	(3,052)	(3,161)	R3.9月判明予定		
	達成率			(85.0%)	(86.3%)			
出典:厚生労働省「人口動態統計」	指標の判定			(e)	(d)	n		

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
出生数(人)	目標			5,700	5,800	5,900	6,000	
	実績	5,666	5,396	(5,040)	(4,696)	R3.9月判明予定		
	達成率			(88.4%)	(81.0%)	—		
出典:厚生労働省「人口動態統計」	指標の判定			(e)	(e)	n		

総合評価

評価理由

E

- 代表指標の達成状況については、①「婚姻件数」、②「出生数」のどちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、速報値は2,686組、達成状況は72.0%で、前年実績値より悪化し、かつ現状値を下回っているため「e」相当である。令和2年1月にあきた結婚支援センターのマッチングシステムをリニューアルし、AI（人工知能）によるお見合い相手紹介機能を付加したことにより、交際開始率は旧システムより約2倍に増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、出会いイベントの開催が自粛されるなど、対面における出会いの機会が減少したため、成婚報告者数が減少しており、一般の婚姻においてもこうした傾向が見られ、婚姻件数が減少している。
- 代表指標②に関しては、速報値は4,499人、達成率は76.3%と、前年実績より悪化し、かつ現状値を下回っているため「e」相当である。不妊治療への支援や周産期医療の充実のほか、乳幼児の保育料や副食費に対し助成するなど、子育ての環境づくりを進めてきたものの、出生数の減少には歯止めがかかっていない。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「E」とする。

施策１－４ 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数(従業員数300人以下の企業)(社)	目標			180	240	300	360	
	実績	64	130	174	206	335		
	達成率			96.7%	85.8%	111.7%		
出典:厚生労働省「都道府県別女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画策定届出状況」	指標の判定			b	c	a		

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数(従業員数100人以下の企業)(社)	目標			285	300	315	330	
	実績	262	287	361	454	518		
	達成率			126.7%	151.3%	164.4%		
出典:厚生労働省「都道府県別一般事業主行動計画策定届の届出及び認定状況」	指標の判定			a	a	a		

総合評価

評価理由

A

- 代表指標の達成状況については、①「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数」、②「次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数」どちらも「a」判定であり、定量的評価は「A」。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。

施策１－５ 活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
社会活動・地域活動に参加した人の割合(%)	目標			50.0	54.0	58.0	62.0	
	実績	42.0	46.6	62.1	57.6	57.3		
	達成率			124.2%	106.7%	98.8%		
出典：県総合政策課「県民意識調査」	指標の判定			a	a	b		
総合評価	評価理由							
B	● 代表指標の達成状況については、①「社会活動・地域活動に参加した人の割合」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。							

戦略１の政策評価結果	
総合評価	評価理由
D	● 施策の評価結果は、「A」１施策、「B」１施策、「C」１施策、「E」２施策（施策の評価結果の平均点は1.80）であり、政策の定量的評価は「D」。 ■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。

■戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略

施策2-1 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
輸送用機械器具製造業の製造品出荷額(億円)	目標			1,220	1,269	1,319	1,372	
	実績	1,124	1,568	(1,423)	(1,321)	R3.9月判明予定		
	達成率			(116.6%)	(104.1%)	—		
出典:県輸送機産業振興室調べ	指標の判定			(a)	(a)	n		
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
医療機器関連製造業の製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所)(億円)	目標			587	611	635	660	
	実績	548	595	(602)	R3.8月判明予定	R4.8月判明予定		H28実績値 573
	達成率			(102.6%)	—	—		
出典:経済産業省「工業統計調査」	指標の判定			(a)	n	n		

総合評価

評価理由

B

- 代表指標の達成状況については、①「輸送用機械器具製造業の製造品出荷額」、②「医療機器関連製造業の製造品出荷額等」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、令和元年度の実績値は1,321億円で、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により対前年度比△102億円であるが、マッチング支援による受注拡大やアドバイザーの派遣による企業競争力の向上、県内自動車関連企業のサプライチェーンとしての取引拡大等により、2年度の目標値(1,319億円)の100.2%の水準に達している。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響はあるものの、自動車産業において、8月以降は中国、北米需要の回復等による持ち直しの動きが見られたことから、2年度の目標を若干下回る水準になるものと見込まれる。
- 代表指標②に関しては、平成30年の実績値は602億円で、30年度目標値(587億円)に対しては102.6%の水準に、令和2年度目標値(635億円)に対しては94.8%の水準に達しており、医療現場ニーズと県内企業とのマッチング支援や、医療福祉機器開発への支援等により増加傾向が続いている。新型コロナウイルス感染症の影響により医療機器の需要は拡大しており、今後も引き続き増加が見込まれる。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

施策2-2 中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所)(億円)	目標			12,883	13,257	13,641	14,037	
	実績	12,153	13,755	(13,358)	R3.8月判明予定	R4.8月判明予定		H28実績値 12,353
	達成率			(103.7%)	—	—		
出典:経済産業省「工業統計調査」	指標の判定			(a)	n	n		
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
製造品付加価値額(従業員4人以上の事業所)(億円)	目標			5,024	5,169	5,319	5,474	
	実績	4,739	5,772	(5,028)	R3.8月判明予定	R4.8月判明予定		H28実績値 4,761
	達成率			(100.1%)	—	—		
出典:経済産業省「工業統計調査」	指標の判定			(a)	n	n		

総合評価

評価理由

C

- 代表指標の達成状況については、①「製造品出荷額等」、②「製造品付加価値額」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、令和元年速報値は12,845億円で、2年目標値(13,641億円)の94.2%の水準に達している。また、代表指標②に関しては、元年速報値は4,934億円で、2年目標値(5,319億円)の92.8%の水準に達している。
2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国内・海外経済の減速により、生産活動の落ち込みが生じた可能性があるものの、下半期は、電子部品製造業では5G関連製品の需要の増加や車載向け製品の国内外の需要の持ち直し、機械金属製造業では輸送機器の海外需要の増加や国内需要の持ち直しなど、一部産業で回復の動きがあった。また、中小企業振興条例等に基づき、県内商工団体等と連携しながら、感染拡大の影響を受けた企業への各種支援のほか、感染症の影響下の変化に対応し、経営課題の解決や事業戦略の実現を図るため、生産性の向上、新商品の開発等に取り組む企業への支援施策をきめ細かく実施するなど、地域経済の活性化に向けた取組が進んでいる。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。

施策２－３ 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
秋田港国際コンテナ取扱量(実入り)(TEU)	目標			55,900	58,600	61,500	64,500	
	実績	50,776	50,678	50,271	51,204	45,353		
	達成率			89.9%	87.4%	73.7%		
出典: 県港湾空港課「県港湾統計年報」	指標の判定			e	c	e		
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
企業の誘致件数及び誘致済企業の施設・設備の拡充件数(件)	目標			24	24	26	26	
	実績	22	24	24	28	25		
	達成率			100.0%	116.7%	96.2%		
出典: 県産業集積課調べ	指標の判定			a	a	b		

総合評価

評価理由

C

- 代表指標の達成状況については、①「秋田港国際コンテナ取扱量」は「e」判定、②「企業の誘致件数及び誘致済企業の施設・設備の拡充件数」は「b」判定であり、定量的評価は「D」。
- 代表指標①に関して、秋田港と日本海側の主要港や近隣港の対前年比を見ると、秋田港△11.4%、伏木富山港△11.9%、金沢港△14.8%、酒田港△13.6%となっており、秋田港の減少率は他港に比べて低い状況となっており、ポートセールス活動等の取組の成果が現れ、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を緩和できている。
- 成果・業績指標①「海外展開に新たに取り組む企業数」に関しては目標値の9割の水準で、成果・業績指標②「環境・リサイクル関連対象企業の製造品出荷額等」に関しては目標を大きく上回っており、取組の成果が指標の達成率に現れてきている。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。

施策２－４ 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
成長産業等における雇用創出数(人)	目標			1,575	1,670	1,820	2,010	
	実績	1,691	1,355	(1,423)	(1,641)	R3.9月判明予定		
	達成率			(90.3%)	(98.3%)	—		
出典: 県産業政策課調べ	指標の判定			(d)	(d)	n		
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
若者や女性等の働きやすい環境の整備に取り組む企業数(社)	目標			495	583	671	759	
	実績	330	434	575	725	926		
	達成率			116.2%	124.4%	138.0%		
出典: 県産業政策課調べ	指標の判定			a	a	a		

総合評価

評価理由

C

- 代表指標の達成状況については、①「成長産業等における雇用創出数」は「n：未判明」、②「若者や女性等の働きやすい環境の整備に取り組む企業数」は「a」判定であり、定量的評価は「N」となっている。
- 代表指標①については、企業誘致等による雇用数に関して、元年度は大規模雇用型の企業の誘致により大幅な増加となったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響などにより2年度は474人となり、減少に転じている。
- 代表指標②については、女性活躍・両立支援推進員による企業訪問を強化した結果、指標の内訳の一つである「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数」が前年度より大幅に増加したことなどにより、目標値を大きく上回った。
- 成果・業績指標のうち三つが目標値に達していないものの、③「高校生の県内民間事業所就職率」については令和3年度の目標値を超え、秋田労働局が統計開始以来の最高値となるなど高い成果を上げたほか、他の成果・業績指標に関しても、達成率又は実績値においては前年実績を上回っている。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価を「C」とする。

戦略2の政策評価結果	
総合評価	評価理由
C	● 施策の評価結果は、「B」1施策、「C」3施策（施策の評価結果の平均点は2.25）であり、政策の定量的評価は「C」。 ■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。

■戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策3-1 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
農業法人数(認定農業者)(法人)	目標			670	730	790	850	
	実績	576	609	656	705	788		
	達成率			97.9%	96.6%	99.7%		
出典: 県農林政策課「担い手に関する定期報告」	指標の判定			b	b	b		
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
担い手への農地集積率(%)	目標			76.0	78.0	80.0	83.0	
	実績	73.2	74.1	(75.0)	(75.4)	R3.10月判明予定		
	達成率			(98.7%)	(96.7%)	—		
出典: 県農林政策課「担い手及びその農地利用の実態に関する調査」	指標の判定			(b)	(b)	n		

総合評価

評価理由

B

- 代表指標の達成状況については、①「農業法人数」は「b」判定、②「担い手への農地集積率」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標②に関しては、令和元年度実績で2年度目標値の94.3%に達しているほか、既に判明している2年度の農地中間管理事業による集積面積は3,024haと、農地集積率の増加は確実である。
- また、今後の秋田県の農林水産業を支える新規就業者についても、研修制度等の充実を背景に各分野で増加傾向となっている。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

施策3-2 複合型生産構造への転換の加速化

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
主要園芸品目の系統販売額(億円)	目標			183	196	203	212	
	実績	160	145	156	154	167		
	達成率			85.2%	78.6%	82.3%		
出典: JA「秋田県青果物生産販売計画書」	指標の判定			d	e	c		
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
畜産産出額(億円)	目標			370	387	399	411	
	実績	352	366	(359)	(362)	R3.12月判明予定		H28実績値 364
	達成率			(97.0%)	(93.5%)	—		
出典: 農林水産省「生産農業所得統計」	指標の判定			(b)	(b)	n		

総合評価

評価理由

B

- 代表指標の達成状況については、①「主要園芸品目の系統販売額」は「c」判定、②「畜産産出額」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、7月の日照不足・長雨の影響等により、野菜はねぎ以外の品目で出荷量が減少したものの、全体の数量不足等により高単価で推移したことや、ねぎやしいたけの出荷量、出荷額が過去最高となったことなどから、全体の販売額が対前年比108%となり達成率が82.3%となった。成果・業績指標①「メガ団地等大規模園芸拠点の整備地区数」の達成率は102.2%と、目標を上回るペースで生産基盤の整備が進んでおり、園芸品目の作付面積が拡大していることから、販売額は更に増加すると見込まれる。また、京浜中央市場では、「しいたけ販売三冠王(出荷量74t増)」を2年連続で達成したほか、「夏秋ねぎの出荷量(423t増)」も2年連続の第2位となり、着実に成果が上がっている。
- 代表指標②に関しては、令和元年度の達成率が93.5%に達していることに加え、令和2年度に大規模畜産団地が新たに8か所で整備(累計49施設: 成果・業績指標②「大規模畜産団地の整備地区数」: 達成率102.1%)されるなど、生産基盤の整備が着実に進んだ結果、産出額に占める割合の大きい豚や、鶏、肉用牛の飼養頭数が増加しており、更なる上積みが見込まれる。
- また、成果・業績指標③「実用化できる試験研究成果」の達成率は114.2%となり、生産基盤の整備はもとより、技術の面でも、複合型生産構造への転換は着実に進展している。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

施策3-3 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
全国に占める秋田米のシェア (%)	目標			5.48	5.54	5.60	5.66	H27実績値は、H23～ 27の最高値と最低値 を除いた3年平均 H28実績値 5.49
	実績	5.47	5.40	(5.95)	(6.07)	R3.12月判明予定		
	達成率			(108.6%)	(109.6%)	—		
出典：農林水産省「米穀の需給及び 価格安定に関する基本指針」	指標の判定			(a)	(a)	n		
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
米の生産費(10ha以上の作付規 模の全算入生産費)(円/60kg)	目標			10,300	10,000	9,600	9,000	H28実績値 10,100
	実績	10,500	10,100	(10,700)	(10,100)	R4.5月判明予定		
	達成率			(96.1%)	(99.0%)	—		
出典：県水田総合利用課「生産 費調査」	指標の判定			(e)	(b)	n		

総合評価

評価理由

B

- 代表指標の達成状況については、①「全国に占める秋田米のシェア」、②「米の生産費」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、主食用米の国内消費量が減少傾向となる中、県産米については、堅調な需要があり、令和元年度産米のシェアは6.07%と目標を上回っている。2年度産米のシェアは未判明であるものの、事前契約数量は20万tとなり、全国トップクラスの水準である。
また、新品種「サキホコレ」デビューに向けた各種対策のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により消費が減退する中で、県産米の販売促進への支援などを実施し、県産米のシェア拡大に向けた取組を積極的に展開している。
- 代表指標②に関しては、平成30年に60kg当たりの生産費が増加したものの、農地集積率の向上と共に経営規模拡大が進んでいるほか、低コスト技術の普及等により、令和元年度の60kg当たりの米の生産費は10,100円/60kgに低減した。
なお、2年については、引き続き低コスト技術の普及等により生産費の低減が見込まれる。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

施策3-4 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
6次産業化事業体販売額(億円)	目標			158	172	186	200	H28実績値 160 全国45位、東北6位
	実績	143	172	(174)	(208)	R4.3月判明予定		
	達成率			(110.1%)	(120.9%)	—		
出典：農林水産省「6次産業化総 合調査」	指標の判定			(a)	(a)	n		

総合評価

評価理由

A

- 代表指標の達成状況については、①「6次産業化事業体販売額」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、直近の令和元年度実績が約208億円で、2年度の目標額186億円を上回っている。2年度の実績は未判明だが、県が2年度に直売所を対象に実施した調査では、販売額が対前年度比101.8%（元年度：62億7千万円→2年度：63億8千万円）となっているほか、農産加工においても産学官金で形成された各クラスター協議会が行う商品開発等の取組が行われるなど、連携による6次産業化の取組が進んだことで販売額の堅調な推移が見込まれ、6次産業化事業体販売額は元年度と同程度を確保できる見通しとなっている。
- また、成果・業績指標③「農産物の輸出額」については、米の輸出ルートの定着に加え、輸出重点品目である「秋田牛」や「りんご」のマーケティング活動により、新たな需要が開拓されたことから、目標を大きく上回った。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。

施策３－５ 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
素材生産量(燃料用含む)(千 m³)	目標			1,554	1,576	1,673	1,700	
	実績	1,470	1,484	(1,519)	(1,583)	R3.9月判明予定		
	達成率			(97.7%)	(100.4%)	—		
出典：農林水産省「木材統計」、林野庁「木質・バイオマスエネルギー利用動向調査」		指標の判定			(b)	(a)	n	
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
スギ製品出荷量(千m³)	目標			651	670	688	706	
	実績	591	634	(640)	(634)	R3.10月判明予定		
	達成率			(98.3%)	(94.6%)	—		
出典：県林業木材産業課「木材加工実態調査」、「木材需給動向観測調査」		指標の判定			(b)	(b)	n	
総合評価	評価理由							
C	● 代表指標の達成状況については、①「素材生産量」、②「スギ製材品出荷量」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。							
	● 代表指標①に関しては、令和元年実績値は1,583千m³で、2年の目標値（1,673千m³）の94.6%の水準に達している。本県のスギ人工林は本格的な利用期を迎え全県域で素材生産が活発化しており、2年においては、秋田市や大仙市に整備した大型の発電施設が本格的に稼働した結果、燃料用は対前年比3％程度（8千m³）の増加が見込まれる。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、全国の新設住宅着工数が対前年比90％となるなどの木材需要落ち込みの影響を受け、製材品出荷量（2月～12月）や合板出荷量（1月～11月）が前年比1～3割程度減少したほか、合板工場では8月に5割近い減産を余儀なくされたことに伴い、2年の燃料用を含まない「素材生産量」の国の速報値は、対前年比12.9％減の1,123千m³となり、素材生産量の減少が見込まれる。							
	● 代表指標②に関しては、令和元年実績値は634千m³で、2年の目標値（688千m³）の92.2%の水準に達している。木材加工流通企業が行う施設整備や国内外への販路拡大を目的としたプロモーション活動等の実施により、スギ製材品出荷量は堅調に推移していたが、令和2年においては、新型コロナウイルス感染症拡大による木材需要縮小の影響を受けて、減産を余儀なくされたことから、前年より減少することが見込まれる。							
	● 新型コロナウイルス感染症の影響により、林業経営体は製材や合板需要の減少に加え、価格が対前年比1割程度下落したことから、厳しい経営状況となったが、経営維持や雇用の確保を下支えするため、素材生産を伴わない森林整備を行う県営林緊急整備事業等を実施したことで、倒産や解雇の発生がなく、雇いを維持・確保した。 また、アフターコロナを見据えた販売力強化に向け、あきた材県外出荷緊急支援事業による県外への39千m³分の製品出荷を支援したほか、大径原木加工施設整備緊急対策事業による製材工場における付加価値の高い製品の生産体制整備を支援した。また、3社に対し2千m³分の製材品のコンテナ輸出に要する支援を行い、米国向けスギ製材品の出荷量は令和元年度から約5千m³増加（対前年比365.6％）するなど、海外での新たな販路拡大につながった。							
	■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。							

施策３－６ つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
海面漁業協同組合員１人当たりの漁業生産額(千円)	目標			3,000	3,050	3,110	3,170	
	実績	2,880	2,821	2,832	2,795	2,937		
	達成率			94.4%	91.6%	94.4%		
出典: 県水産漁港課「漁業生産額調査、海面漁協台帳調査」	指標の判定			d	e	b		
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
つくり育てる漁業の対象魚種の漁業生産額(億円)	目標			10.1	10.3	10.5	10.7	H28実績値 9.1 全国12(/39)位、東北4位
	実績	9.7	8.9	(8.2)	(6.7)	R4.5月判明予定		
	達成率			(81.2%)	(65.0%)	—		
出典: 農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」	指標の判定			(e)	(e)	n		
総合評価	評価理由							
C	● 代表指標の達成状況については、①「海面漁業協同組合員１人当たりの漁業生産額」は「b」判定、②「つくり育てる漁業の対象魚種の漁業生産額」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で単価が低下し、主要魚種で漁業生産額が減少したが、サケにおいては漁獲量、単価共に前年を大きく上回ったことから、前年度より５％増加し、達成率は94.4％となった。 なお、新型コロナウイルス感染症第２波、第３波の影響を大きく受けた５か月間の単価は、平年と比べて約30％下落したが、その対策として、秋田県漁業協同組合が行う学校給食及び高齢者施設への県産水産物の提供や、県漁協が行う魚介類の買い上げや冷凍保管等供給の平準化と価格安定の取組に対して支援したことにより、年平均単価では平年比４％の減少にとどまった。単価の大きな下落がなければ漁業生産額は実績以上に増加する見込みであった。 また、全国豊かな海づくり大会の開催後、県内量販店で地魚の消費を喚起するイベント等が継続して開催されており、県民の地魚に対する関心が高まっていることから、県内需要の増加が見込まれる。 ● 代表指標②に関しては、サケが好調であったものの、外食需要が大きいマダイ、ヒラメ、フグ類が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて単価が下がっており、対象魚種の漁業生産額は微増にとどまるものと予想される。 なお、対象魚種の放流実績は対前年度比で５％増加しているほか、平成30年度に整備が完了した水産振興センター栽培漁業施設において、富山県以北で例のないキジハタの種苗生産に取り組んでおり、つくり育てる漁業による資源の維持・増大に向けた取組は着実に進んでいる。 また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、海面・内水面漁業協同組合の収入が減少したことにより、アワビやアユ等の種苗を平年と同規模で放流することが困難になったことから、不足分が補てんされるよう支援を行っており、来年度以降も資源の維持が期待される。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。							

施策３－７ 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
中山間地域資源活用プラン策定地域数(累積)(地域)	目標			45	50	55	60	
	実績	37	45	49	53	55		
	達成率			108.9%	106.0%	100.0%		
出典: 県農山村振興課「元気な中山間農業応援事業実績」	指標の判定			a	a	a		
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
水と緑の森づくり推進事業参加者数(累積)(百人)	目標			211	423	635	847	H30年度から「水と緑の森づくり税事業第3期5箇年計画」に基づく取組を開始
	実績	—	—	223	457	585		
	達成率			105.7%	108.0%	92.1%		
出典: 県森林整備課「秋田県水と緑の森づくり推進事業実績」	指標の判定			a	a	b		
総合評価	評価理由							
B	● 代表指標の達成状況については、①「中山間地域資源活用プラン策定地域数」は「a」判定、②「水と緑の森づくり推進事業参加者数」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。							

戦略3の政策評価結果	
総合評価	評価理由
C	● 施策の評価結果は、「A」1施策、「B」4施策、「C」2施策（施策の評価結果の平均点は2.86）であり、政策の定量的評価は「C」。 ■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。

■戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・ものの交流拡大戦略

施策4-1 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
観光地点等入込客数(延べ人数)(千人)	目標			33,000	33,500	34,000	34,500	
	実績	31,596	33,282	(34,484)	(35,270)	R3.8月判明予定		
	達成率			(104.5%)	(105.3%)	—		
出典:県観光戦略課「秋田県観光統計」	指標の判定			(a)	(a)	n		

総合評価

評価理由

D

- 代表指標の達成状況については、①「観光地点等入込客数」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、令和元年実績値は35,270千人で2年目標値(34,000千人)の103.7%であったが、2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、移動自粛や外国人の入国制限等の措置により観光入込客数は大きく減少する見込みである。また、成果・業績指標①「延べ宿泊者数」、②「外国人延べ宿泊者数」、③「クルーズ船の寄港回数」も同様に減少する見込みである。
- 一方、秋田県プレミアム宿泊券の発行や、県内旅行商品の造成支援、「#秋田を旅しよう」SNS投稿キャンペーンを行い、県内流動の促進による観光需要の下支えを行った結果、対前年比3割程度まで落ち込んだ宿泊者数を対前年比7割程度まで回復させるなど、一定の効果があつた。
- また、秋田県公式観光サイトのリニューアルや、東北デスティネーションキャンペーンにおける本県独自の誘客促進ポスターの制作、重点市場である台湾・中国等でSNSによる情報発信の強化等の取組による新たな外国人のフォロワーの獲得等、アフターコロナを見据えた情報発信に取り組んだ。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。

施策4-2 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進

代表指標①	年	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
食料品・飲料等製造品出荷額等(億円)	目標			1,260	1,280	1,290	1,300	
	実績	1,205	(1,401)	(1,347)	R3.8月判明予定	R4.8月判明予定		H28実績値 1,284 全国44位、東北6位
	達成率			(106.9%)	—	—		
出典:経済産業省「工業統計調査」	指標の判定			(a)	n	n		

総合評価

評価理由

D

- 代表指標の達成状況については、①「食料品・飲料等製造品出荷額等」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、令和元年速報値が1,332億円となり、2年目標値(1,290億円)の103.3%の水準に達している。しかし、2年の実績値については、県が各業種に行ったヒアリング等によると、新型コロナウイルス感染症拡大に伴った外食需要の減少などにより、清酒出荷量は対前年比9.1%(元年17,811kl→2年:16,183kl)の減少、お土産品等としての売り上げが大きい稲庭うどんやいぶりがっこも対前年比1割～4割ほど減少しており、2年目標値を下回る見込みとなっている。
- 売上げが落ち込んだ事業者を支援するため、日本酒セットの特別販売会や統一ラベル酒の企画・販売、県内量販店における県産品購入者へ送料の一部を負担するキャンペーンを実施したところ、特別販売会では約2,100万円、統一ラベル酒は約3,000万円を売り上げたほか、同キャンペーンに参加した12社の売り上げが対前年同期比が平均144%、注文件数で141%となるなど、日本酒や県産品の販売拡大につながった。
- また、「あきた発酵ツーリズム」については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により来客数が前年の約1/3程度に減少しているものの、アフターコロナにおける誘客の増加を見据え、補助金等を通して施設整備及び地域における誘客の取組を推進した。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。

施策４－３ 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
文化事業への来場者数(人)	目標			455,000	460,000	465,000	470,000	
	実績	449,311	315,365	465,879	450,445	54,435		
	達成率			102.4%	97.9%	11.7%		
出典：県文化振興課調べ	指標の判定			a	b	e		
総合評価	評価理由							
D	● 代表指標の達成状況については、①「文化事業への来場者数」は「e」判定であり、定量的評価は「E」。 ● 代表指標①に関しては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により当初予定していた事業等が実施できず、令和2年度は実績値が54,435人で目標値の465,000人を大きく下回ったものの、必要な感染防止対策を十分に講じた上で実施した「アーツアーツあきた」や「Akita Jam Festival 2020」等は多数の来場実績を上げた。 ● アフターコロナを見据え、祭りや伝統行事をはじめとした秋田ならではの文化の県内外への発信の取組を強化し、イベントの中止等を余儀なくされたアーティストや文化団体等が実施した無観客公演の開催の動画制作・配信への助成では、採択された7事業で計約43,000回を超える閲覧実績があり、芸術文化活動の支援につなげた。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。							
施策４－４ 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	目標			54.0	57.0	61.0	65.0	
	実績	49.5	46.9	48.0	50.5	58.5		
	達成率			88.9%	88.6%	95.9%		
出典：秋田県スポーツ推進委員協議会「全県体力テスト・スポーツ実態調査」	指標の判定			d	c	b		
総合評価	評価理由							
B	● 代表指標の達成状況については、①「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。							
施策４－５ 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県内高速道路の供用率(%)	目標			90	90	92	92	
	実績	90	90	90	90	92		
	達成率			100.0%	100.0%	100.0%		
出典：県道路課調べ	指標の判定			a	a	a		
総合評価	評価理由							
A	● 代表指標の達成状況については、①「県内高速道路の供用率」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。							

施策４－６ 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
秋田県と県外間の旅客輸送人員数(千人)	目標			5,435	5,479	5,522	5,567	H28実績値 4,940
	実績	5,392	6,015	(6,795)	(5,384)	R4.5月判明予定		
	達成率			(125.0%)	(98.3%)	—		
出典:国土交通省「旅客地域流動調査」	指標の判定			(a)	(b)	n		
総合評価	評価理由							
D	● 代表指標の達成状況については、①「秋田県と県外間の旅客輸送人員数」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、令和元年度実績値が5,384千人であり、2年度実績値は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、県外との往来を控える要請がなされたこと等を受け、前年度を大幅に下回ることが想定される。 そのような中においても、航空会社に対する着陸料助成や、バス・タクシー事業者等が事業継続を図るための支援を実施し、広域・地域の両面で交通ネットワークを概ね維持したほか、アフターコロナにおける需要の回復を見据えて、秋田・大館能代空港、秋田内陸縦貫鉄道、由利高原鉄道について、感染防止機能を向上させるための施設改修や備品の購入に対する助成等を行い、必要な取組を着実に実施した。 ● 成果・業績指標①「一般乗合旅客自動車運送事業免許キロ数」については、乗合バス事業者及び市町村に対する運行費助成や路線再編の支援、地域の関係者が一体となった利用促進への取組により目標を達成している。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。							

戦略４の政策評価結果

総合評価	評価理由
D	● 施策の評価結果は、「A」1施策、「B」1施策、「D」4施策（施策の評価結果の平均点は1.83）であり、政策の定量的評価は「D」。 ■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。

■戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略

施策5-1 健康寿命日本一への挑戦

代表指標①-1	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
健康寿命 男性（年）	目標			71.71	72.21	72.71	73.21	
	実績	71.21	—	—	R3.秋判明予定	—	—	
	達成率			—	—	—	—	
出典:厚生労働省「厚生労働科学研究班資料」	指標の判定			n	n	n		
代表指標①-2	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
健康寿命 女性（年）	目標			74.98	75.43	75.87	76.32	
	実績	74.53	—	—	R3.秋判明予定	—	—	
	達成率			—	—	—	—	
出典:厚生労働省「厚生労働科学研究班資料」	指標の判定			n	n	n		

総合評価	評価理由
C	● 代表指標の達成状況については、①-1「健康寿命 男性」、①-2「健康寿命 女性」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、「健康寿命日本一」に向けて、県民一人ひとりの意識改革と行動変容に結び付ける様々な取組を、健康づくり県民運動推進協議会を中心に行っている。成果・業績指標②「健康長寿推進員の育成数」は、前年に比較して30%以上増加するなど、県民運動の推進体制が強化された。コロナ禍においても、ICTの効果的な活用などにより、県民の健康意識を高めるための取組は着実に進んでいる。 ● 一方、成果・業績指標①「要介護2以上の者（65歳以上75歳未満）が被保険者に占める割合」が改善傾向にありながらも、全国値を下回る状況が続いているほか、がんや脳血管疾患の死亡率が高いことなどから、県民一人ひとりの意識改革と行動変容に向けた働きかけを引き続き行っていく必要がある。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。

施策5-2 心の健康づくりと自殺予防対策

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
自殺による人口10万人当たり死亡率(人口10万対)	目標			22.4	21.6	20.8	20.1	
	実績	23.8	24.4	(20.3)	(20.8)	R3.9月判明予定		
	達成率			(109.4%)	(103.7%)	—	—	
出典:厚生労働省「人口動態統計」	指標の判定			(a)	(a)	n		

総合評価	評価理由
B	● 代表指標の達成状況については、①「自殺による人口10万人当たり死亡率」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、速報値は18.0、達成状況は113.5%で「a」相当であり、自殺死亡率、自殺者数共に、前年から大きく改善した。ピーク時の平成15年以降からの減少傾向は継続していると見ているが、全国平均にはまだ1.6ポイント届いていない。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

施策５－３ 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率(人口10万対)	目標			35.1	33.7	32.3	30.9	
	実績	37.9	37.7	(35.5)	(35.0)	R3.9月判明予定		
	達成率			(98.9%)	(96.1%)	—		
出典:厚生労働省「人口動態統計」	指標の判定			(b)	(b)	n		
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	目標			85.5	83.6	81.7	79.8	
	実績	87.4	83.8	(80.0)	(82.0)	R3.12月判明予定		
	達成率			(106.4%)	(101.9%)	—		
出典:厚生労働省「人口動態統計」及び国立がん研究センター調べ	指標の判定			(a)	(a)	n		

総合評価

評価理由

B

- 代表指標の達成状況については、①「脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率」、②「がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、速報値は34.7、達成状況は92.6%であり、高齢者医療先端研究センターや救命救急センター等への支援など脳血管疾患の年齢調整死亡率の低下に向けた取組を進めている。
- 代表指標②に関しては、令和元年実績値は2年目標値と比較して99.6%の達成状況となっているほか、地域がん診療連携拠点病院等への支援など75歳未満年齢調整死亡率の低下に向けて取り組んでいる。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

施策５－４ 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
介護施設等の介護職員数(人)	目標			22,750	23,300	23,850	24,400	
	実績	20,891	21,228	(21,241)	(22,602)	判明時期未定		
	達成率			(93.4%)	(97.0%)	—		
出典:厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	指標の判定			(b)	(b)	n		

総合評価

評価理由

B

- 代表指標の達成状況については、①「介護施設等の介護職員数」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、令和元年度実績値が22,602人であり、2年度目標値の94.8%の水準に達している。中高生等を対象とした介護施設等での職場体験や中高年、在住外国人等を対象とした入門研修等の実施、介護職員の処遇改善や人材育成等を積極的に実施する事業者の認証評価制度の推進、介護職員の負担軽減や生産性向上のための介護ロボット・ICT等の導入支援など、介護未経験者の新規就労や労働環境の改善による介護職員の職場定着に向けた様々な支援策を総合的に展開しており、2年度も増加傾向が続くものと見込まれる。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

施策５－５ 次代を担う子どもの育成								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
里親委託児童数(人)	目標			22	25	28	31	ファミリーホームによる措置児童数を含む。
	実績	16	19	25	27	36		
	達成率			113.6%	108.0%	128.6%		
出典:県地域・家庭福祉課調べ	指標の判定			a	a	a		
総合評価	評価理由							
B	● 代表指標の達成状況については、①「里親委託児童数」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。 ● 代表指標①に関しては、目標は達成したものの、令和２年度の里親委託率（乳幼児：39.2%、学童期以降：10.5%、全体：17.6%）は、元年度の全国平均（全体：21.5%）を下回っており、全国的には下位の水準にあるほか、国の社会的養育ビジョンで示されている目標値（乳幼児：75%以上、学童期以降：50%以上）を下回っている。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。							

戦略５の政策評価結果	
総合評価	評価理由
C	● 施策の評価結果は、「B」４施策、「C」１施策（施策の評価結果の平均点は2.80）であり、政策の定量的評価は「C」。 ■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。

■戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略

施策6-1 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
高校生の県内就職率(公私立、全日制・定時制)(%)	目標			68.0	70.0	72.0	74.0	
	実績	65.0	66.9	(65.3)	(67.8)	R3.12月判明予定		
	達成率			(96.0%)	(96.9%)	—		
出典:文部科学省「学校基本調査」	指標の判定			(b)	(b)	n		

総合評価

評価理由

A

- 代表指標の達成状況については、①「高校生の県内就職率」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、全国との比較を行い分析に活用する観点から、文部科学省の「学校基本調査」によることとしているが、令和3年3月末時点で県が独自に調査した速報値である「秋田県高等学校卒業生の進路状況調査」によると、県内就職率は72.5%であり、2年度の目標値である72.0%を上回っている。高校新卒者の求人倍率が全国的に高い状況下において、関係機関と連携し、地域で活躍する企業の紹介、求人開拓等のきめ細かな取組を進めており、県内就職率は2年連続で増加した。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。

施策6-2 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
授業で自分の考えを発表する機会がよくあると思う児童生徒の割合(小4～中2)(%)	目標			91.4	91.6	91.8	92.0	
	実績	91.0	91.4	91.1	90.4	90.0		
	達成率			99.7%	98.7%	98.0%		
出典:県義務教育課「秋田県学習状況調査」	指標の判定			b	e	e		

総合評価

評価理由

C

- 代表指標の達成状況については、①「授業で自分の考えを発表する機会がよくあると思う児童生徒の割合」は「e」判定であり、定量的評価は「E」。
- 代表指標①に関しては、目標に僅かに届かないながらも90%台と高い水準を維持しており、全国学力・学習状況調査における同質問における全国平均と比べ、小学校では8ポイント程度、中学校では10ポイント程度高い状況が続いている。本県独自の少人数学習の実施や、他者と関わりながら問題の解決を図る探究型授業の充実により、授業で児童生徒が意見発表する機会が十分に確保されているものと考えられる。
- 高等学校においても、成果・業績指標①「国公立大学希望達成率(公私立、全日制)」が、令和2年度目標値である58.0%を上回る61.6%となるなど、学力の定着が進んでいる。また、難関大学進学者及び医学部医学科進学者も前年度より増加している。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。

施策6－3 世界で活躍できるグローバル人材の育成								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
英検3級以上相当の英語力を有する中学3年生の割合(%)	目標			47.0	52.0	57.0	62.0	
	実績	37.1	49.1	48.3	39.1	－		
	達成率			102.8%	75.2%	－		
出典:文部科学省「英語教育実施状況調査」	指標の判定			a	d	n		
総合評価	評価理由							
C	● 代表指標の達成状況については、①「英検3級以上相当の英語力を有する中学3年生の割合」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、文部科学省の「英語教育実施状況調査」は中止となったが、本県が独自で全生徒を対象に実施した英検I B A（令和2年6月実施）の結果によると、「英検3級以上相当の英語力を有する中学3年生の割合」は48.3%であり、目標に対する達成状況は84.7%となる。英検I B Aによる同レベルの3年生の割合は前年度より9.3ポイント増えており、文部科学省が示す目標値（50%）に近づいている。また、「英検準2級以上相当の英語力を有する高校3年生の割合」が51.3%と、文部科学省が示す目標値（50%）を超えている。 ● 新型コロナウイルス感染症の拡大により、児童生徒を対象としたイングリッシュキャンプや海外派遣が中止となったが、ファンライティングやOnline Seminar Series、オンラインによるディベート活動（e-Debate交流会）を新たに実施するなど、手法を工夫しながら児童生徒の英語学習意欲の向上や論理的思考力の育成に資する取組を継続している。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。							
施策6－4 豊かな人間性と健やかな体の育成								
代表指標①	年度	現状値 (H29)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合(小6、中3)(%)	目標			83.6	84.2	84.8	85.4	H28実績値82.9 R2は調査なし
	実績	83.0	83.0	89.1	86.0	－		
	達成率			106.6%	102.1%	－		
出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査」	指標の判定			a	a	n		
代表指標②	年度	現状値 (H29)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
運動やスポーツをすることが「好き」な児童生徒の割合(小5、中2)(%)	目標			67.0	68.0	69.0	70.0	H28実績値65.6 R2は調査なし
	実績	65.6	65.6	66.0	65.9	－		
	達成率			98.5%	96.9%	－		
出典:スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」	指標の判定			b	b	n		
総合評価	評価理由							
B	● 代表指標の達成状況については、①「自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合」、②「運動やスポーツをすることが「好き」な児童生徒の割合」どちらも「n：未判明」判定であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、文部科学省の「全国学力・学習状況調査」は中止となったが、本県の小学校・中学校の約4割において、任意で同じ調査を実施しており、同質問に対する回答状況は84.7%となっている。新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校行事や地域活動の機会が縮小し、前年度よりも一人ひとりが活躍できる場面は減ったものの、全体としては目標に近い水準を維持している。 ● 代表指標②に関しては、代替となる調査はないものの、令和元年度実績については、達成状況は96.9%であり、全国平均値を小学校5年生男子は5.2ポイント、同女子は6.8ポイント、中学校2年生男子は9.3ポイント、同女子は5.6ポイント上回る結果となっており、各学年男女の合計についても、3年連続全国1位であった。2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により運動の機会が減少したが、質の高い体育・保健体育授業を展開し、児童生徒の体力維持に努めた。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。							

施策6-5 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり

代表指標①	年度	現状値 (H29)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
授業の内容がよく分かると思う 児童生徒の割合(小6、中3) (%)	目標			84.0	84.0	84.0	84.0	H28実績値82.8 R2は調査なし
	実績	83.8	83.8	85.8	86.1	—		
	達成率			102.1%	102.5%	—		
出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査」	指標の判定			a	a	n		

総合評価

評価理由

A

- 代表指標の達成状況については、①「授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、文部科学省の「全国学力・学習状況調査」は中止となったが、本県の小学校・中学校の約4割において、任意で同じ調査を実施しており、同質問に対する回答状況は86.7%となっている。各学校において授業改善などが進んでおり、コロナ禍においても順調に数値が伸びている。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。

施策6-6 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究数 (件)	目標			94	96	98	100	
	実績	89	86	102	106	116		
	達成率			108.5%	110.4%	118.4%		
出典:県高等教育支援室調べ	指標の判定			a	a	a		

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県内高卒者の県内大学・短大への進学率(%)	目標			28.8	29.2	29.6	30.0	H28実績 27.6%
	実績	28.4	28.4	27.9	28.8	28.1		
	達成率			96.9%	98.6%	94.9%		
出典:文部科学省「学校基本調査」	指標の判定			e	b	e		

総合評価

評価理由

D

- 代表指標の達成状況については、①「県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究数」は「a」判定、②「県内高卒者の県内大学・短大への進学率」は「e」判定であり、定量的評価は「D」。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。

施策６－７ 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
芸術・文化施設をセカンドスクール的に利用した小・中学生の割合(%)	目標			28.0	29.0	30.0	31.0	
	実績	26.6	23.7	24.3	18.6	15.4		
	達成率			86.8%	64.1%	51.3%		
出典：県生涯学習課調べ	指標の判定			d	e	e		
総合評価	評価理由							
E	● 代表指標の達成状況については、①「芸術・文化施設をセカンドスクール的に利用した小・中学生の割合」は「e」判定であり、定量的評価は「E」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「E」とする。							

戦略６の政策評価結果	
総合評価	評価理由
C	● 施策の評価結果は、「A」２施策、「B」１施策、「C」２施策、「D」１施策、「E」１施策（施策の評価結果の平均点は2.29）であり、政策の定量的評価は「C」。 ■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。

4 施策（基本政策）の総合評価

基本政策名	施策名	総合評価
基本政策 1 県土の保全と防災力強化	(1) 災害に備えた強靱な県土づくり	B
	(2) 地域防災力の強化	C
基本政策 2 環境保全対策の推進	(1) 地球温暖化防止と循環型社会の形成	D
	(2) 良好な環境と豊かな自然の保全	B
基本政策 3 安全・安心な生活環境の確保	(1) 犯罪や事故のない地域づくり	D
	(2) 暮らしやすい生活環境の確保	C
	(3) 安らげる生活基盤の整備	A
基本政策 4 ICTによる便利な暮らしの実現と地域の活性化	(1) ICT利活用による県民生活の利便性向上	A
	(2) ICT利活用による地域の活性化	A

5 施策（基本政策）評価の結果

■基本政策 1 県土の保全と防災力強化

(1) 災害に備えた強靱な県土づくり								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県管理河川の整備率(%)	目標			46.1	46.3	46.5	46.7	
	実績	45.9	46.0	46.1	46.2	46.4		
	達成率			100.0%	99.8%	99.8%		
出典: 県河川砂防課調べ	指標の判定			a	b	b		
総合評価	評価理由							
B	● 代表指標の達成状況については、①「県管理河川の整備率」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。							

(2) 地域防災力の強化								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
自主防災組織の組織率(%)	目標			79.3	81.6	83.9	86.2	
	実績	68.7	69.6	70.5	71.1	71.2		
	達成率			88.9%	87.1%	84.9%		
出典: 県総合防災課調べ	指標の判定			c	c	c		
総合評価	評価理由							
C	● 代表指標の達成状況については、①「自主防災組織の組織率」は「c」判定であり、定量的評価は「C」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。							

■基本政策２ 環境保全対策の推進

(１) 地球温暖化防止と循環型社会の形成

代表指標①	年度	現状値 (H25)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県内の温室効果ガス排出量(千トン-CO2)	目標			10,444	10,359	10,274	10,190	H27実績値 10,012 H28実績値 9,872 H29実績値 9,566
	実績	10,869		R4.1月判明予定	R5.1月判明予定	R6.1月判明予定		
	達成率			—	—	—		
出典：県温暖化対策課「秋田県における温室効果ガスの排出状況について」	指標の判定		n	n	n			
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
廃棄物の最終処分量(千トン)	目標			331	330	328	327	H28実績値 371
	実績	279	313	(303)	(429)	R4.3月判明予定		
	達成率			(108.5%)	(70.0%)	—		
出典：県環境整備課「秋田県産業廃棄物処理実態調査」、環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」	指標の判定			(a)	(e)	n		

総合評価

評価理由

D

- 代表指標の達成状況については、①「県内の温室効果ガス排出量」、②「廃棄物の最終処分量」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
- 代表指標①に関しては、最新の値である平成29年度実績において、令和2年度目標値を下回る水準まで温室効果ガス排出量が抑制されている。また、2年度から運営を開始したごみ拾いSNS「ピリカ」により、県民の自主的なクリーンアップ活動の共有が図られたほか、環境保全活動に懸賞参加ポイントを付与するアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」についても登録者数が増加するなど、環境保全に対する県民の意識高揚が進んでいる。また、全戸配布広報紙や県政テレビによる普及啓発に取り組み、県民や企業の環境保全意識を高めることで、地球温暖化防止のための積極的な行動が着実に進んでいる。
- 代表指標②に関しては、最新の値である令和元年度実績が目標未達成となっているが、一般廃棄物や能代火力発電所以外からの産業廃棄物は近年横ばいで推移していることから、石炭火力発電所の設備増強に伴う産業廃棄物の増加がその主な要因である。なお、2年度以降も元年度と同様の推移になることが見込まれており、第4次秋田県循環型社会形成推進基本計画（R3～R7）においては、これを踏まえて目標値を再設定している。また、2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種研修会や実地調査の中止・縮小を余儀なくされたものの、認定リサイクル製品の認定数が元年度よりも増加し、廃棄物の有効利用や発生抑制に向けた取組が着実に進んだ。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。

(２) 良好な環境と豊かな自然の保全

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
水環境(公共用水域)に係る環境基準達成率(%)	目標			91.9	93.5	95.0	95.0	
	実績	88.8	91.5	90.7	89.0	92.4		
	達成率			98.7%	95.2%	97.3%		
出典：県環境管理課「公共用水域水質調査結果」	指標の判定		b	b	b			

総合評価

評価理由

B

- 代表指標の達成状況については、①「水環境(公共用水域)に係る環境基準達成率」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。
- 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

■基本政策3 安全・安心な生活環境の確保

(1) 犯罪や事故のない地域づくり

代表指標①	年	現状値 (H29)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
交通事故死者数(人)	目標			30人以下	30人以下	30人以下	30人以下	
	実績	30	30	42	40	37		
	達成率			60.0%	66.7%	76.7%		
出典: 県警察本部交通部「交通統計」	指標の判定			e	d	d		
総合評価	評価理由							
D	● 代表指標の達成状況については、①「交通事故死者数」は「d」判定であり、定量的評価は「D」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。							

(2) 暮らしやすい生活環境の確保

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
犬猫の年間殺処分数(頭)	目標			179	0	0	0	
	実績	578	343	373	385	811		
	達成率			-8.4%	—	—		
出典: 県生活衛生課調べ	指標の判定			d	n	n		
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
秋田県HACCP認証延べ件数(件)	目標			140	160	180	200	
	実績	108	119	134	151	188		
	達成率			95.7%	94.4%	104.4%		
出典: 県生活衛生課調べ	指標の判定			b	b	a		
総合評価	評価理由							
C	● 代表指標の達成状況については、①「犬猫の年間殺処分数」は「n」判定、②「秋田県HACCP認証延べ件数」は「a」判定であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、犬は適切な譲渡先が見つからない個体が増加し、猫は危害を及ぼす恐れがある個体、幼齢のため死亡した個体、死因不明の個体が増加し、目標の達成には至らなかったものの、「譲渡適性はあるがやむを得ず処分したもの」に該当するのは18頭にとどまり、前年度の45頭より減少している。これは譲渡頭数が前年度の381頭から509頭に大幅に増加したことが要因であり、平成31年4月に開設した動物愛護センターの取組が奏功している。また、犬猫譲渡会等の動物とのふれあい事業への参加者も大幅に増加しており、動物愛護センターの開設が、県民の動物愛護意識向上に寄与しているものと考えられる。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。							

(3) 安らげる生活基盤の整備								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
下水道等の汚水処理人口普及率(%)	目標			87.1	87.8	88.4	88.9	
	実績	86.1	86.7	(87.4)	(88.0)	R3.7月判明予定		
	達成率			(100.3%)	(100.2%)	—		
出典:県下水道マネジメント推進課「秋田の下水道(資料編)」		指標の判定			(a)	(a)	n	
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県立都市公園の平均満足度(%)	目標			87.5	87.5	88.0	88.0	
	実績	87.1	84.0	86.1	86.5	88.9		
	達成率			98.4%	98.9%	101.0%		
出典:県都市計画課調べ		指標の判定			d	d	a	
総合評価	評価理由							
A	● 代表指標の達成状況については、①「下水道等の汚水処理人口普及率」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。 ● 代表指標①に関しては、令和元年度末（普及率100.2%）から、さらに下水道等の整備が進捗しており、令和3年7月末時点における実績見込みは目標値を上回っている。 ● 代表指標②に関しては、指定管理者による利用者目線に立ったきめ細かな運営管理や、クマ出没対策（緩衝帯の設置）を実施したことによる目撃件数の減少（令和元年度：3回→2年度：0回）等もあり、平均満足度や達成率が前年度よりも向上し、目標値を上回っている。 ● 成果・業績指標④「子育て世帯の住宅リフォーム支援戸数」の達成率は122.6%となっており、子育て世帯への住宅リフォーム支援や令和元年度から新たに開始した県内への移住希望者へのリフォーム支援が、子どもと暮らしやすい居住環境づくりや移住者の快適な生活環境の確保に寄与している。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。							

■基本政策4 ICTによる便利な暮らしの実現と地域の活性化

(1) ICT利活用による県民生活の利便性向上								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
電子申請サービスの申請件数 (件)	目標			5,000	6,000	7,000	8,000	
	実績	4,030	3,739	5,224	6,339	10,855		
	達成率			104.5%	105.7%	155.1%		
出典：県デジタル政策推進課調べ		指標の判定			a	a	a	
総合評価	評価理由							
A	● 代表指標の達成状況については、①「電子申請サービスの申請件数」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。							

(2) ICT利活用による地域の活性化								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
実施されたICTを用いた地域活 性化事業数(累積)(件)	目標			1	2	2	3	
	実績	0	2	3	6	8		
	達成率			300.0%	300.0%	400.0%		
出典：県デジタル政策推進課調べ		指標の判定			a	a	a	
総合評価	評価理由							
A	● 代表指標の達成状況については、①「実施されたICTを用いた地域活性化事業数」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。 ■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。							

6 事業評価

(1) 中間評価 (対象：継続事業)

評価結果 (事業の妥当性)	件数	
	知事	教育委員会
継続	189	26
改善して継続	53	6
見直し	0	0
休廃止	0	0
終了	36	4
計	278	36

(2) 事後評価 (対象：終了事業)

評価結果 (事業の妥当性)	件数	
	知事	教育委員会
妥当性が高い	5	0
概ね妥当である	54	2
妥当性が低い	0	0
計	59	2

7 公共事業箇所評価 (令和2年度に行った評価)

(1) 中間評価 (対象：継続事業) (2) 事後評価 (対象：終了事業)

評価結果 (今後の継続・中止)	件数
継続	19
改善して継続	0
見直し	0
中止	0
計	19

評価結果 (事業の妥当性)	件数
妥当性が高い	7
概ね妥当である	0
妥当性が低い	0
計	7

8 研究課題評価

(1) 中間評価 (対象：継続課題) (2) 事後評価 (対象：終了課題)

評価結果 (進捗状況)	件数
計画より大きな成果	0
計画より成果	9
計画どおり	14
努力が必要	0
継続意義は低い	0
計	23

評価結果 (研究成果)	件数
見込みを上回る	3
見込みをやや上回る	3
見込みどおり	10
見込みをやや下回る	0
見込みを下回る	0
計	16

Ⅲ 公安委員会及び警察本部長が行った政策等の評価結果（概要）

1 政策評価

（対象：「令和2年秋田県警察運営の基本方針と重点目標」における重点目標のうちの3項目）

（1）評価結果別一覧

評価結果	件数	政 策
A	2	○犯罪の起きにくい社会づくりの推進 ○被害者支援の推進
B	1	○交通死亡事故の抑止
C	0	
D	0	
計	3	

評価結果区分

A：目標達成

B：目標達成が8割以上

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

（2）評価の概要（主な評価結果）

評価結果	評価の概要
A	○犯罪の起きにくい社会づくりの推進 成果指標：刑法犯認知件数抑止目標達成率 90.7%（抑止目標2,161件に対して認知件数2,382件） 評価結果：地域や罪種によって増加した犯罪があるものの、県内の刑法犯認知件数は平成28年以降連続して2,000件台の低水準で推移しているほか、非行少年数は10年連続で減少するなど本政策は着実に推進されており、「A」と評価。 ○被害者支援の推進 成果指標：カウンセリング等実施状況 100%（実施要望144件に対して全件実施） 評価結果：部内臨床心理士によるカウンセリングを全件実施したほか、「命の大切さ学習教室」などの広報啓発活動を推進した。成果指標の数値とあわせて「A」と評価。
B	○交通死亡事故の抑止 成果指標：交通死亡事故の抑止 81.1%（抑止目標30人以下に対して死者数37人） 評価結果：交通事故の発生件数、死者数、負傷者数は前年と比較してそれぞれ減少し、死傷者数は1,692人と目標の2,000人を下回るなどの成果も認められるが、政策目標の交通死亡事故の達成目標が81.1%にとどまったことから「B」と評価。

2 施策評価

(1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	施策
着実に推進	7	【政策：犯罪の起きにくい社会づくりの推進関連】 ○地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進 ○「秋田県地域安全ネットワーク」の活性化及びこれを基盤とした社会の規範意識の向上 ○少年非行防止・保護総合対策の推進 【政策：交通死亡事故の抑止関連】 ○高齢者対策を最重点とする総合的な交通事故防止対策の推進 ○交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進 ○安全で快適な交通環境の整備 【政策：被害者支援の推進関連】 ○被害者の視点に立った警察活動の推進
改善を図りながら推進	0	
見直しが必要	0	
計	7	

(2) 評価の概要（主な評価結果）

評価結果	評価の概要
着実に推進	3つの政策をそれぞれ構成する7項目の施策について、これら施策が着実に推進された結果として政策目標が達成されていることから、いずれの施策についても上記の評価とした。

3 事業評価

(1) **中間評価** (対象：継続事業)

評価結果 (対応方針)	件数
現状維持で継続	8
見直して継続	0
休廃止	0
計	8

(2) **事後評価** (対象：終了事業)

評価結果	件数
妥当性が高い	1
概ね妥当である	0
妥当性が低い	0
計	1

戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段:目標値、中段:実績値、下段:達成率)				備考
					H30	R1(H31)	R2(H32)	R3(H33)	
【施策1-2】 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり	①県内大学生等の県内就職率	%	45.9 (H28)	42.2	50.0	53.0	56.0	60.0	
					45.3	42.6	46.7		
					90.6%	80.4%	83.4%		
	②就職説明会等への大学生等の参加者数	人	966 (H28)	778	1,000	1,030	1,060	1,090	
					1,228	1,865	1,617		
					122.8%	181.1%	152.5%		
	③高校生の県内就職率(公私立、全日制・定時制)	%	65.0 (H28)	66.9	68.0	70.0	72.0	74.0	
					65.3	67.8			
					96.0%	96.9%			
	④移住者数(県関与分)	人	293 (H28)	314	320	330	340	350	
					459	494	576		
					143.4%	149.7%	169.4%		
	⑤Aターン就職者数	人	952 (H28)	1,128	1,000	1,050	1,150	1,300	
					1,134	1,058	1,120		
					113.4%	100.8%	97.4%		
【施策1-3】 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート	①合計特殊出生率	—	1.39 (H28)	1.35	1.47	1.50	1.52	1.54	
					1.33	1.33			
					90.5%	88.7%			
	②あきた結婚支援センターへの成婚報告者数	人	211 (H28)	176	215	220	225	230	
					159	162	103		
					74.0%	73.6%	45.8%		
	③放課後児童クラブの待機児童数(翌年度5月1日現在)	人	177 (H28)	79	155	117	0	0	
					63	51			
					159.4%	156.4%			
	④保育所等の待機児童数(翌年度4月1日現在)	人	41 (H28)	37	21	11	0	0	
					65	22	10		
					-109.5%	0.0%	—		
【施策1-4】 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現	①県内民間事業所の女性管理職の割合	%	5.2 (H28)	5.4	5.5	5.7	5.9	6.1	
					5.9	5.8	5.6		
					107.3%	101.8%	94.9%		
	②次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業数	社	20 (H28)	22	30	35	40	45	
					24	27	30		
					80.0%	77.1%	75.0%		
	③社会貢献に取り組む団体の活動に参加した若者の数	人	—	9,766	10,500	11,500	12,400	13,200	
					12,484	21,280	10,902		
					118.9%	185.0%	87.9%		
	④若者の自立支援を通じた進路決定者数	人	116 (H28)	120	140	150	160	170	
					119	101	102		
					85.0%	67.3%	63.8%		
【施策1-5】 活力にあふれ、安心して暮らすことのできる地域社会づくり	①地域が目指す将来像の実現に向けて元氣ムラ活動を進めている地域コミュニティの数(累積)	集落	776 (H28)	874	1,035	1,160	1,270	1,380	
					911	966	1,002		
					88.0%	83.3%	78.9%		
	②小さな拠点の形成数(累積)	箇所	12 (H28)	12	14	15	17	20	
					17	17	38		
					121.4%	113.3%	223.5%		
	③CCRCの導入によるまちづくり取組件数(累積)	件	1 (H28)	1	4	5	6	7	
					1	1	1		
					25.0%	20.0%	16.7%		
	④賑わいを創出するリノベーション実績件数(累積)	件	10 (H28)	16	16	19	22	25	
					20	31	42		
					125.0%	163.2%	190.9%		
	⑤生活排水処理施設を廃止し流域下水道に接続される処理区数(累積)	処理区	9 (H28)	9	10	11	12	19	
					10	11	16		
					100.0%	100.0%	133.3%		

戦略２ 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
【施策２－１】 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成	①風力発電設備導入量	kW	74,153 (H28)	15,453	60,000	60,000	60,000	155,000	
					69,040	138,585	69,970		
					115.1%	231.0%	116.6%		
	②情報関連産業における自社商品開発企業数	社	5 (H28)	16	7	7	10	10	
					16	15			
					228.6%	214.3%			
	③県の集中的支援による中核企業化の実績	社	5 (H28)	5	5	5	5	5	
					4	3	0		
					80.0%	60.0%	.0%		
【施策２－２】 中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上	①技術指導・相談件数	件	2,830 (H28)	2,685	3,000	3,100	3,200	3,300	
					2,409	2,267	2,769		
					80.3%	73.1%	86.5%		
	②開業率	%	2.7 (H28)	2.8	3.1	3.3	3.5	3.7	
					2.6	2.5	2.7		
					83.9%	75.8%	77.1%		
	③事業承継計画策定件数	件	89 (H28)	128	150	200	200	200	
					267	245	165		
					178.0%	122.5%	82.5%		
	④商業・サービス業の県内総生産	億円	11,333 [8,917] (H26)	9,525	11,559	11,616	11,674 [9,185]	11,732	プラン策定後、算定基準が変更 []内は、基準変更後の数値
					9,548				
					82.6%				
【施策２－３】 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進	①海外展開に新たに取り組む企業数	社	9 (H28)	10	9	10	10	10	
					7	9	9		
					77.8%	90.0%	90.0%		
	②環境・リサイクル関連対象企業の製造品出荷額等	億円	199 (H28)	287	211	223	235	247	
					477	696	649		
					226.1%	312.1%	276.2%		
【施策２－４】 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備	①Aターン就職者数	人	952 (H28)	1,128	1,000	1,050	1,150	1,300	
					1,134	1,058	1,120		
					113.4%	100.8%	97.4%		
	②県内大学生等の県内就職率	%	45.9 (H28)	42.2	50.0	53.0	56.0	60.0	
					45.3	42.6	46.7		
					90.6%	80.4%	83.4%		
	③高校生の県内民間事業所就職率	%	66.0 (H28)	68.5	69.6	71.3	73.0	74.7	
					67.4	70.6	75.4		
					96.8%	99.0%	103.3%		
	④県内建設業に就職した新規高校卒業業者数	人	160 (H28)	142	180	190	200	210	
					172	131	152		
					95.6%	68.9%	76.0%		

戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
【施策3-1】 秋田の農林水産業を牽引する 多様な人材の育成	①新規就農者数	人	227 (H28)	221	250	250	260	270	
					225	241			
					90.0%	96.4%			
	②新規林業就業者数	人	133 (H28)	130	155	155	155	155	
					140	146			
					90.3%	94.2%			
	③新規漁業就業者数	人	10 (H28)	12	10	10	10	10	
					11	13	11		
					110.0%	130.0%	110.0%		
【施策3-2】 複合型生産構造への転換の 加速化	①メガ団地等大規模園芸拠点の整備地区数（累積）	地区	10 (H28)	20	33	39	45	50	
					33	41	46		
					100.0%	105.1%	102.2%		
	②大規模畜産団地の整備地区数（累積）	地区	30 (H28)	36	40	44	48	50	
					38	41	49		
					95.0%	93.2%	102.1%		
	③実用化できる試験研究成果（累積）	件	256 (H28)	289	290	310	330	350	
					318	345	377		
					109.7%	111.3%	114.2%		
【施策3-3】 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用	①ほ場整備面積（累積）	ha	87,685 (H28)	88,515	89,340	90,140	90,940	91,740	
					89,356	90,162	90,981		
					100.0%	100.0%	100.0%		
	②水田への作物作付面積（主食用米を除く）	ha	45,142 (H28)	44,400	45,200	45,400	45,600	45,800	
					37,596	36,917	35,841		
					83.2%	81.3%	78.6%		
【施策3-4】 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化	①食関連ビジネスに取り組む農業法人数	法人	294 (H28)	294	320	335	350	365	
					331	316	313		
					103.4%	94.3%	89.4%		
	②企業ニーズに対応するため県が支援して設立された生産者組織数（累積）	組織	1 (H28)	2	3	4	5	6	
					4	4	5		
					133.3%	100.0%	100.0%		
	③農産物の輸出額	百万円	106 (H28)	133	113	119	125	131	
					273	278	290		
					241.6%	233.6%	232.0%		
	④農業生産工程管理（GAP）に取り組むJA数	JA	8 (H28)	9	10	13	15	15	H29年度末時点のJA単位でカウント
					10	10	10		
					100.0%	76.9%	66.7%		
【施策3-5】 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化	①スギ人工林間伐面積	ha	5,152 (H28)	4,703	6,100	6,300	6,400	6,600	
					5,096	4,761			
					83.5%	75.6%			
	②再造林面積	ha	240 (H28)	226	280	320	380	508	
					226	338			
					80.7%	105.6%			
	③新規林業就業者数	人	133 (H28)	130	155	155	155	155	
					140	146			
					90.3%	94.2%			
【施策3-6】 つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興	①トラフグとキジハタの種苗放流数の合計	万尾	11 (H28)	8	11	13	14	15	
					4.5	4.2	8.1		
					40.9%	32.3%	57.9%		
	②漁業者等による加工や鮮度保持等の取組件数（累積）	件	6 (H28)	13	14	16	18	20	
					17	18	21		
					121.4%	112.5%	116.7%		
	③新規漁業就業者数	人	10 (H28)	12	10	10	10	10	
					11	13	11		
					110.0%	130.0%	110.0%		
	④拠点漁港における陸揚岸壁の耐震・耐津波化の整備延長（累積）	m	—	—	26	87	176	229	
					78	128	178		
					300.0%	147.1%	101.1%		
【施策3-7】 地域資源を生かした活気ある農産漁村づくり	①新たに企業や大学等と連携し里地里山の保全活動等に取り組む地域数（累積）	地域	0 (H28)	4	8	12	14	16	
					5	11	18		
					62.5%	91.7%	128.6%		
	②水と緑の森づくり事業による森林整備面積（累積）	ha	— (H28)	—	900	1,800	2,700	3,600	
					859	1,752	2,623		
					95.4%	97.3%	97.1%		
	③ため池整備により解消される被害想定面積（累積）	ha	39,347 (H28)	39,413	39,550	39,800	40,050	40,300	
					39,538	39,697	39,772		
					100.0%	99.7%	99.3%		
	④基幹的農業水利施設の整備箇所数（累積）	箇所	108 (H28)	121	128	138	148	158	
					128	141	153		
					100.0%	102.2%	103.4%		

戦略４ 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
【施策４－１】 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化	①延べ宿泊者数（暦年）	千人泊	3,400 (H28)	3,346	3,500	3,600	3,700	3,800	
					3,505	3,654	2,546		
					100.1%	101.5%	68.8%		
	②外国人延べ宿泊者数（暦年）	人泊	66,950 (H28)	104,660	125,000	150,000	175,000	200,000	
					123,430	139,400	25,380		
					98.7%	92.9%	14.5%		
	③クルーズ船の寄港回数	回	15 (H28)	25	26	28	30	32	
					21	26	0		
					80.8%	92.9%	.0%		
【施策４－２】 「食」がリードする秋田の 活性化と誘客の推進	①加工食品・日本酒の輸出金額	千円	537,688 (H28)	652,823	639,000	697,000	761,000	831,000	
					787,565	734,551			
					123.2%	105.4%			
【施策４－３】 文化の発信力強化と文化に よる地域の元気創出	①「beyond2020プログラム」認証事業数	件	—	7	20	30	40	50	
					37	38	23		
					185.0%	126.7%	57.5%		
【施策４－４】 「スポーツ立県あきた」の 推進とスポーツによる交流 人口の拡大	①海外からのスポーツ合宿等誘致数（累積）	件	6 (H28)	7	12	18	28	33	
					11	19	19		
					91.7%	105.6%	67.9%		
	②国体における天皇杯得点	点	989.0 (H28)	989.0	1,000	1,000	1,000	1,000	
					787.5	707.5	134.0		
					78.8%	70.8%	13.4%		
【施策４－５】 県土の骨格を形成する道路 ネットワークの整備	①県管理国道改良率	%	93.8 (H28)	93.8	93.9	94.0	94.0	94.1	
					93.9	94.1	94.2		
					100.0%	100.1%	100.2%		
【施策４－６】 交流の持続的拡大を支える 交通ネットワークの構築	①一般乗合旅客自動車運送事業免許キロ数	km	4,146 (H28)	4,151	4,146	4,146	4,146	4,146	
					4,188	4,167	4,212		
					101.0%	100.5%	101.6%		

戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
【施策5-1】 健康寿命日本一への挑戦	①要介護2以上の者（65歳以上75歳未満）が被保険者に占める割合	%	2.13 (H29)	2.13	2.08	2.03	1.98	1.93	
					2.09	2.08	2.01		
					99.5%	97.5%	98.5%		
	②健康長寿推進員の育成数（累積）	人	—	128	200	600	1,200	2,000	
					503	1,017	1,340		
					251.5%	169.5%	111.7%		
	③チャレンジデー参加率	%	61 (H29)	61	63	65	67	70	
					68	70	—		
					107.9%	107.7%	—		
	④特定健診受診率	%	46.5 (H27)	48.6	70.0	70.0	70.0	70.0	H28実績値： 46.4
					49.8				
					71.1%				
	⑤がん検診受診率（胃・大腸・肺・子宮頸・乳）	%	20.3～ 45.9 [9.3～19.8] (H27)	27.1～ 45.3 [9.7～19.0]	31.4～47.4 [29.7～34.9]	35.1～47.9 [36.4～39.9]	38.8～48.4 [43.2～45.0]	42.5～48.9 [全部位50]	H28実績値： 27.9～44.2 [10.3～18.1] プラン策定後、算定基準が変更 []内は、基準変更後の数値
					9.1～17.7	8.4～17.4			
					28.8～52.2%	22.3～44.4%			
【施策5-2】 心の健康づくりと自殺予防対策	①自殺者数	人	240 (H28)	242	220以下	210以下	200以下	190以下	
					199	200			
					109.5%	104.8%			
	②心はればれゲートキーパーの養成人数	人	1,133 (H28)	2,278	2,900	3,800	4,700	5,600	
					3,785	5,704	6,568		
					130.5%	150.1%	139.7%		
【施策5-3】 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備	①病院の常勤医師数	人	1,517 (H28)	1,499	1,546	1,563	1,575	1,598	
					1,511	1,495	1,518		
					97.7%	95.6%	96.4%		
	②看護業務従事者数（常勤換算）	人	14,277.1 (H28)	—	14,673.7	14,781.1	14,873.4	14,927.5	隔年（偶数年）調査
					14,429.3	—	14,409.6		
					98.3%	—	96.9%		
	③訪問診療を実施している診療所・病院数	施設	248 (H27)	未判明	254	256	258	260	H28実績値： 232
	④回復期病床の数	床	1,301 (H28)	1,322	1,577	1,715	1,853	1,991	
					1,440	1,452			
					91.3%	84.7%			
【施策5-4】 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実	①高齢者の社会参加の割合	%	61.6 (H28)	62.6	63.0	64.0	65.0	66.0	
					60.9	57.0	53.5		
					96.7%	89.1%	82.3%		
	②認知症サポーター数	人	78,517 (H28)	90,643	100,000	110,000	120,000	130,000	
					100,191	111,433	116,422		
					100.2%	101.3%	97.0%		
	③手話教室実施校数	校	—	15	25	25	25	25	
					26	21	16		
					104.0%	84.0%	64.0%		
【施策5-5】 次代を担う子どもの育成	①生活保護世帯の子どもの高校進学率	%	96.2 (H28)	90.6	97.7	98.4	99.2	99.2	
					92.2	96.4	98.2		
					94.4%	98.0%	99.0%		

戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
【施策6-1】 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成	①将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小6、中3）	%	85.6 (H29)	85.6	87.0	88.0	89.0	90.0	
					87.1	86.2	—	—	
					100.1%	98.0%	—	—	
	②地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合（小6、中3）	%	55.1 (H29)	55.1	57.0	59.0	61.0	63.0	
					62.5	67.3	—	—	
					109.6%	114.1%	—	—	
	③高校生のインターンシップ参加率（公立）	%	60.6 (H28)	61.2	63.0	64.0	65.0	66.0	
					64.9	64.6	—	—	
					103.0%	100.9%	—	—	
【施策6-2】 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着	①国公立大学希望達成率（公私立、全日制）	%	54.0 (H28)	51.3	56.0	57.0	58.0	59.0	
					52.1	53.3	61.6	—	
					93.0%	93.5%	106.2%	—	
	②特別支援教育に関する研修を受講した高校教員の割合	%	66.0 (H29)	66.0	75.0	84.0	92.0	100.0	H28実績値：66.0
					65.3	66.3	72.5	—	
					87.1%	78.9%	78.8%	—	
	③就学前教育・保育施設における小学校教育への接続を意識した指導計画の作成率（認可施設）	%	25.7 (H28)	—	65.0	70.0	75.0	80.0	
					75.0	76.0	84.0	—	
					115.4%	108.6%	112.0%	—	
	④理科が好きだと思う児童生徒の割合（小4～中2）	%	87.1 (H28)	87.9	87.7	88.0	88.3	88.6	
					86.9	86.4	85.9	—	
					99.1%	98.2%	97.3%	—	
	⑤科学技術関係講座等の受講人数	人	4,272 (H28)	4,319	4,445	4,530	4,615	4,700	
					4,641	5,832	2,343	—	
					104.4%	128.7%	50.7%	—	
【施策6-3】 世界で活躍できるグローバル人材の育成	①イングリッシュキャンプに参加した児童生徒数	人	740 (H29)	740	755	770	785	800	
					821	624	—	—	
					108.7%	81.0%	—	—	
	②国際理解講座の実施件数	件	50 (H28)	35	50	50	50	50	
					26	61	55	—	
					52.0%	122.0%	110.0%	—	
	③外国語情報提供の実施件数	件	351 (H28)	311	264	274	284	294	
					276	278	387	—	
					104.5%	101.5%	136.3%	—	
【施策6-4】 豊かな人間性と健やかな体の育成	①小・中学生の不登校児童生徒数（千人当たり、国公立）	人	9.1 (H28)	10.8	9.1	9.1	9.1	9.1	
					14.1	15.0	—	—	
					45.1%	35.2%	—	—	
	②インターネットの健全利用に関する啓発講座等を実施した中学校区の割合	%	51.4 (H28)	75.9	70.0	80.0	90.0	100.0	
					95.7	97.4	99.1	—	
					136.7%	121.8%	110.1%	—	
	③特別支援学校中学生生徒と中学生との居住地交流の実施割合	%	18.4 (H28)	14.9	22.0	24.0	26.0	28.0	
					21.1	19.6	24.5	—	
					95.9%	81.7%	94.2%	—	
	④運動部活動における外部指導者の活用率（中・高等学校）	%	30.6 (H29)	30.6	32.0	33.0	34.0	35.0	H28実績値：28.5
					30.0	31.0	—	—	
					93.8%	93.9%	—	—	
【施策6-5】 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり	①児童生徒のICT活用を指導することが「できる」「ややできる」とする教員の割合（小・中学校）	%	68.9 (H28)	68.3	72.3	73.3	74.3	75.3	
					71.4	71.4	—	—	
					98.8%	97.4%	—	—	
	②市町村における統括コーディネーターの配置率	%	—	—	25.0	50.0	75.0	100.0	
					16.0	24.0	24.0	—	
					64.0%	48.0%	32.0%	—	
	③地域と連携して防災訓練等を実施する学校の割合（公立、幼・小・中・高・特別支援）	%	41.3 (H28)	46.7	54.0	56.0	58.0	60.0	
					46.7	55.1	47.3	—	
					86.5%	98.4%	81.6%	—	
【施策6-6】 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興	①県内大学生等の県内就職率	%	45.9 (H28)	42.2	50.0	53.0	56.0	60.0	
					45.3	42.6	46.7	—	
					90.6%	80.4%	83.4%	—	
【施策6-7】 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供	①生涯学習支援システムにおける生涯学習講座の登録件数	件	1,569 (H28)	1,570	2,100	2,300	2,500	2,800	
					2,351	2,785	1,809	—	
					112.0%	121.1%	72.4%	—	
	②県立図書館司書による県立学校図書館への訪問支援等の実施件数	校	10 (H29)	10	20	25	30	30	H28実績値：11
					20	25	6	—	
					100.0%	100.0%	20.0%	—	
	③国・県指定等文化財の件数	件	758 (H28)	764	767	770	773	776	
					771	770	785	—	
					100.5%	100.0%	101.6%	—	

基本政策 1 県土の保全と防災力強化

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
(1) 災害に備えた強靱な 県土づくり	①ため池整備により解消される被害想定面積（累積）（再掲）	ha	39,347 (H28)	39,413	39,550	39,800	40,050	40,300	
					39,538	39,697	39,772		
					100.0%	99.7%	99.3%		
	②想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成件数（累積）	件	0 (H28)	0	8	16	23	30	
					1	30	34		
					12.5%	187.5%	147.8%		
	③県内5港湾における津波防災計画を策定した港湾数	港	2 (H28)	2	2	3	4	5	
					2	2	2		
					100.0%	66.7%	50.0%		
(2) 地域防災力の強化	①救急救命士運用隊数	隊	71 (H28)	71	73	74	75	76	
					72	74	75		
					98.6%	100.0%	100.0%		
	②BCP策定済み市町村数	市町村	13 (H28)	15	19	19	25	25	
					17	19	20		
					89.5%	100.0%	80.0%		

基本政策 2 環境保全対策の推進

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
(1) 地球温暖化防止と循環型社会の形成	①県民1人1日当たりのごみ排出量	g	994 (H27)	984	958	949	940	931	H29実績値：984
					989	994			
					96.8%	95.3%			
	②環境あきた県民塾受講者数（累積）	人	1,057 (H28)	1,091	1,140	1,180	1,220	1,260	
					1,135	1,186	1,215		
					99.6%	100.5%	99.6%		
(2) 良好な環境と豊かな自然の保全	③県認定リサイクル製品の認定数（累積）	製品	399 (H28)	409	405	408	411	414	
					419	423	432		
					103.5%	103.7%	105.1%		
	①田沢湖のpH（湖心）	—	5.3 (H28)	5.4	5.6	5.8	6.0以上	6.0以上	
					5.4	5.0			
					96.4%	86.2%	88.3%		
	②狩猟者登録者数	人	1,669 (H28)	1,692	1,800	1,870	1,940	2,000	
					1,700	1,689	1,694		
					94.4%	90.3%	87.3%		
	③自然環境学習拠点施設の利用者数	人	10,063 (H28)	9,260	11,300	11,900	12,500	13,100	
					9,757	9,172	8,446		
					86.3%	77.1%	67.6%		

基本政策 3 安全・安心な生活環境の確保

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
(1) 犯罪や事故のない地域づくり	①除排雪団体数	団体	30 (H28)	38	44	50	55	60	
					43	46	51		
					97.7%	92.0%	92.7%		
	②雪による人的被害者数	人	102 (H28)	173	100人以下	100人以下	100人以下	100人以下	
					95	23	264		
					105.0%	177.0%	-64.0%		
(2) 暮らしやすい生活環境の確保	③消費者教育による出前講座・教育支援講座、啓発講座等の参加者数	人	9,642 (H28)	9,397	10,000	10,000	10,000	10,000	
					6,526	7,166	3,071		
					65.3%	71.7%	30.7%		
	①動物とのふれあい事業等参加者数	人	2,339 (H28)	6,001	5,000	10,000	11,400	12,800	
					7,280	52,070	34,586		
					145.6%	520.7%	303.4%		
(3) 安らげる生活基盤の整備	②食品安全に関する研修会・懇談会等への参加者数	人	1,204 (H28)	592	1,200	1,200	1,200	1,200	
					1,016	1,037	396		
					84.7%	86.4%	33.0%		
	①景観行政団体数	市町村	6 (H28)	6	6	7	8	10	
					6	7	8		
					100.0%	100.0%	100.0%		
	②通学路指定路線における歩道整備率	%	66.6 (H28)	66.8	67.0	67.2	67.5	67.7	
					67.0	67.3	67.6		
					100.0%	100.1%	100.1%		
	③生活排水処理場数	箇所	242 (H28)	238	236	233	230	219	
					235	233	226		
					100.4%	100.0%	101.7%		
	④子育て世帯の住宅リフォーム支援戸数	戸	264 (H28)	250	500	500	500	500	
					590	546	613		
					118.0%	109.2%	122.6%		

基本政策 4 ICTによる便利な暮らしの実現と地域の活性化

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
(1) ICT利活用による県民生活の利便性向上	①オープンデータ化した県有データ数（累積）	件	— (H28)	35	40	60	80	100	
					42	61	81		
					105.0%	101.7%	101.3%		